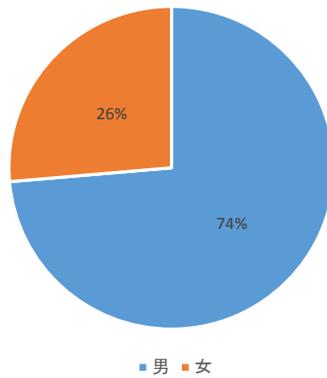


仕事と家庭・育児の両立にかんするアンケート結果

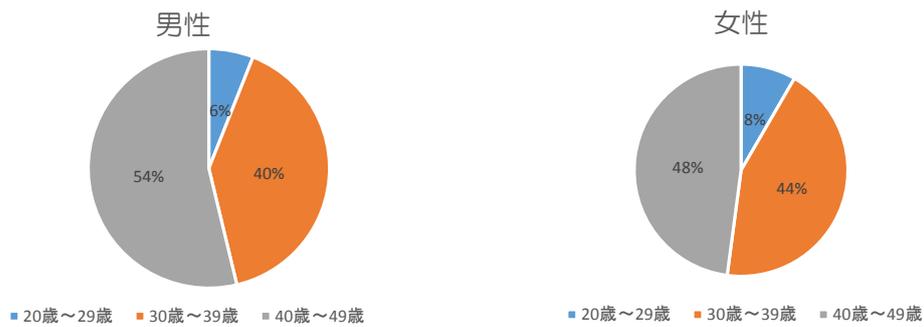
実施：平成28年5月

	配布枚数	回答枚数	回答率
男性	330	134	41%
女性	104	48	46%
合計	434	182	42%

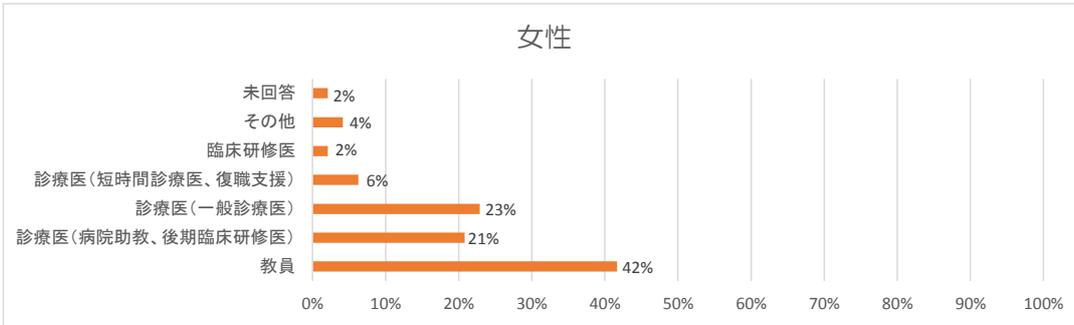
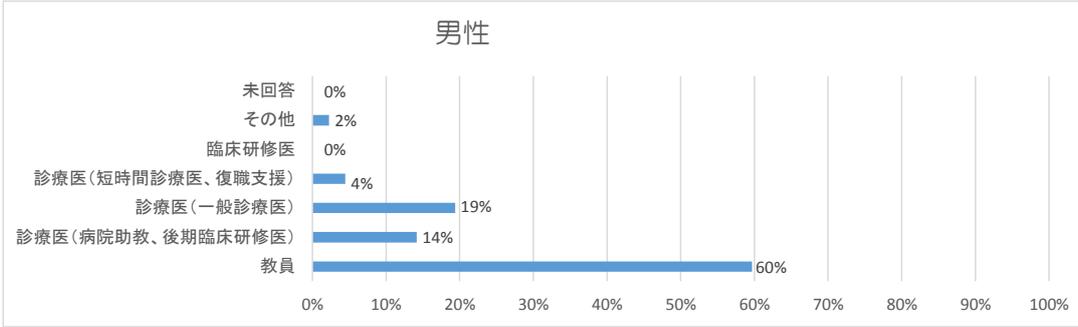
1. 性別は



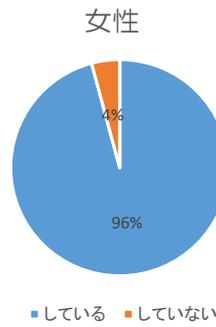
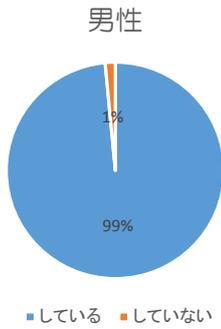
2. 年齢は



3. 雇用形態は



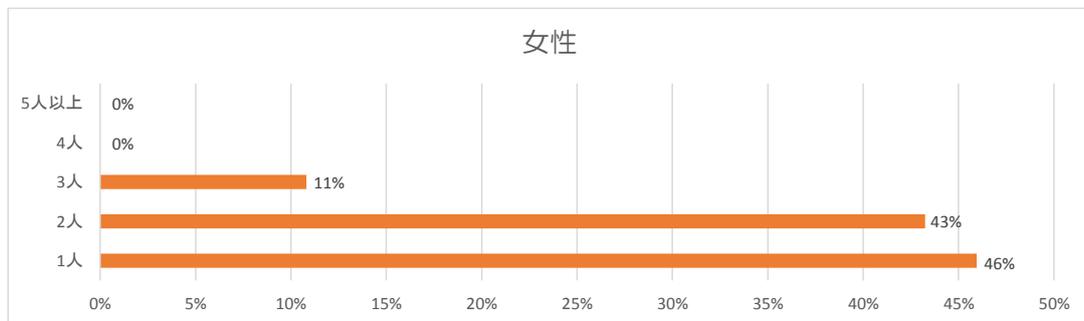
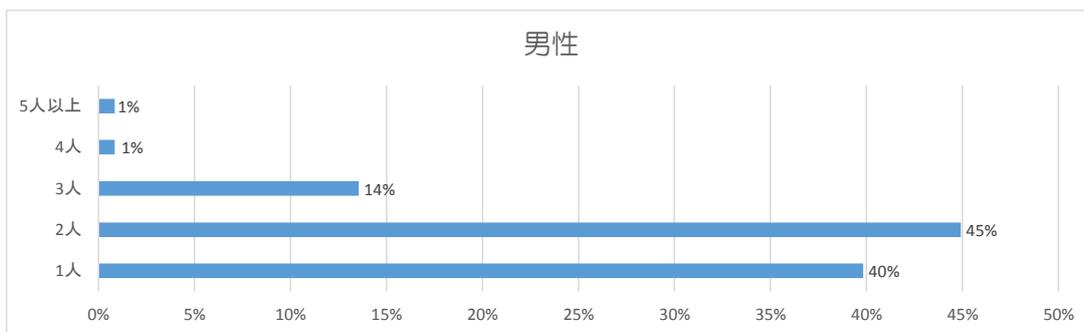
4. 結婚について



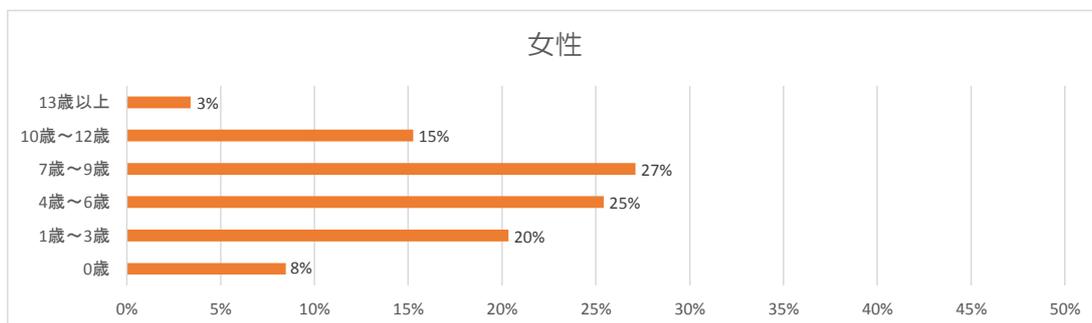
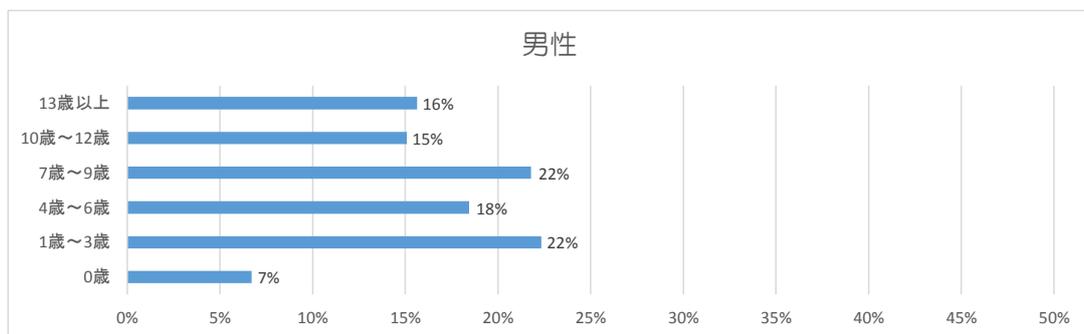
5. 子どもについて



子どもの人数

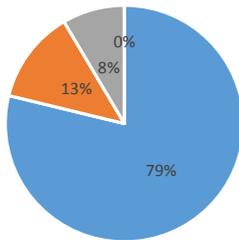


7. 子どもの年齢は



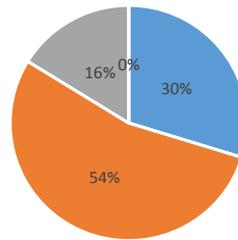
8. 当直（夜間勤務）について

男性・子どもあり



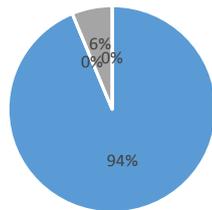
■ している ■ していない ■ 当直業務なし ■ 無回答

女性・子どもあり



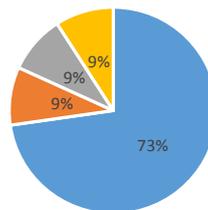
■ している ■ していない ■ 当直業務なし ■ 無回答

男性・子どもなし



■ している ■ していない ■ 当直業務なし ■ 無回答

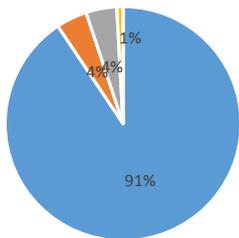
女性・子どもなし



■ している ■ していない ■ 当直業務なし ■ 無回答

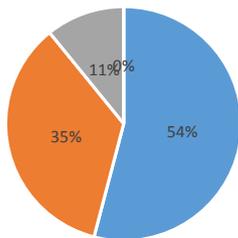
9. 休日勤務について

男性・子どもあり



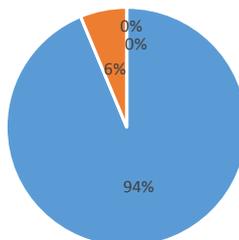
■ している ■ していない ■ 業務なし ■ 無回答

女性・子どもあり



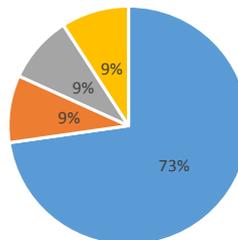
■ している ■ していない ■ 業務なし ■ 無回答

男性・子どもなし



■ している ■ していない ■ 業務なし ■ 無回答

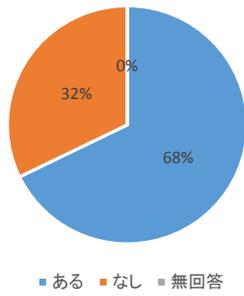
女性・子どもなし



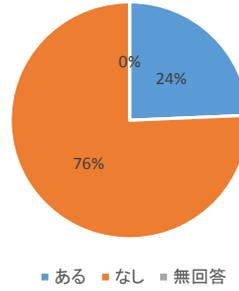
■ している ■ していない ■ 業務なし ■ 無回答

10. 帰宅後の呼び出しについて

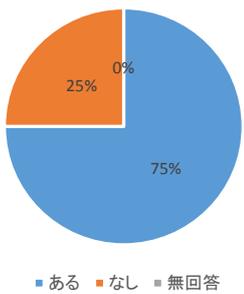
男性・子どもあり



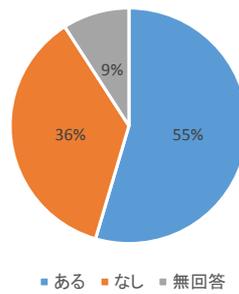
女性・子どもあり



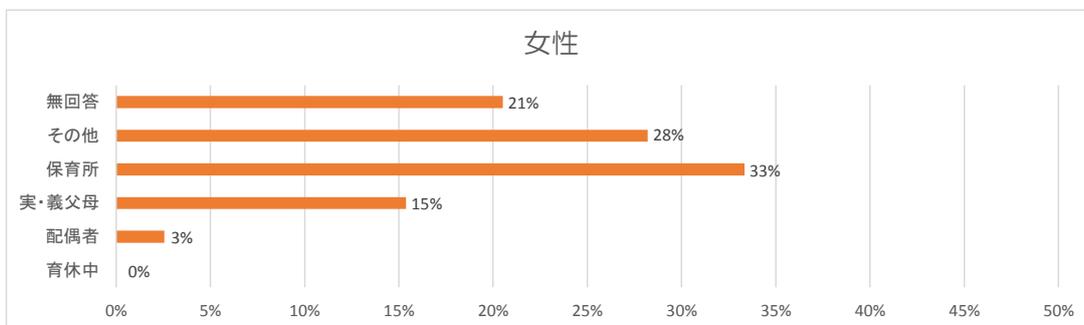
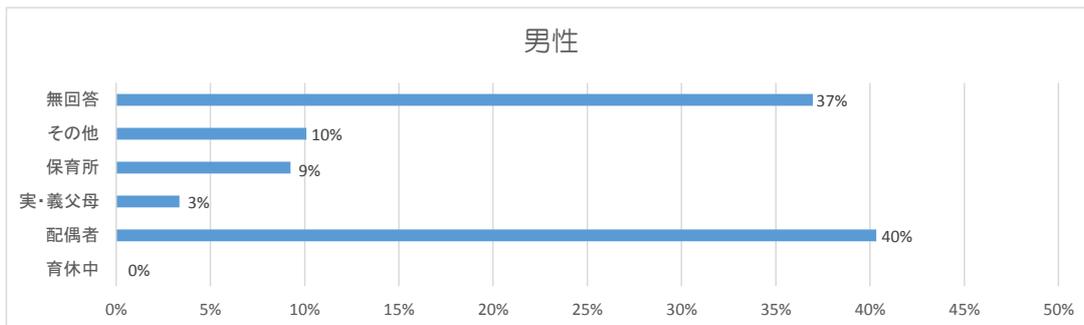
男性・子どもなし



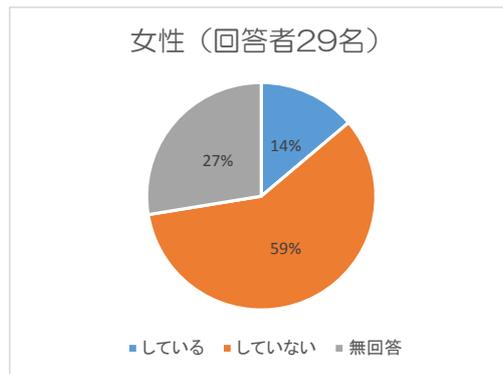
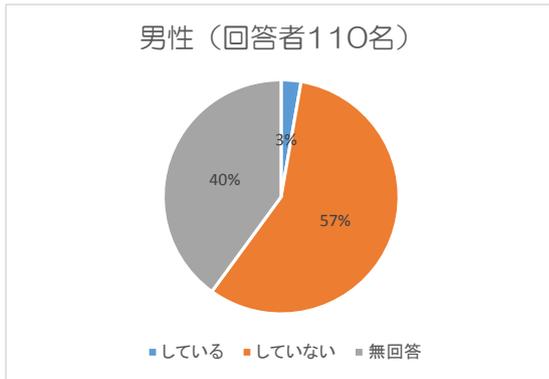
女性・子どもなし



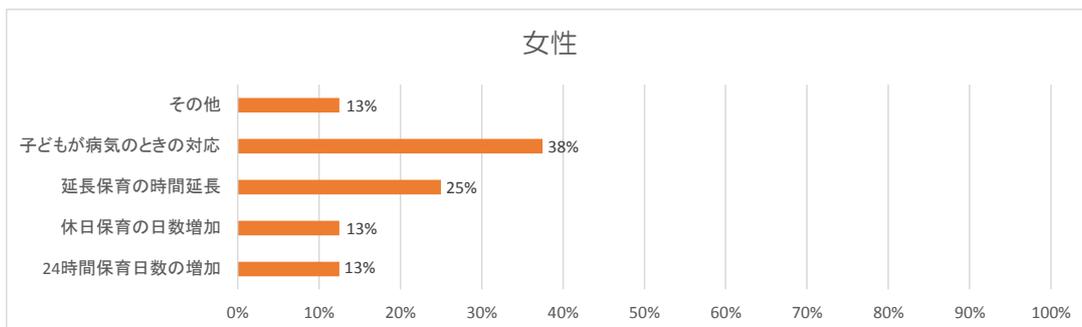
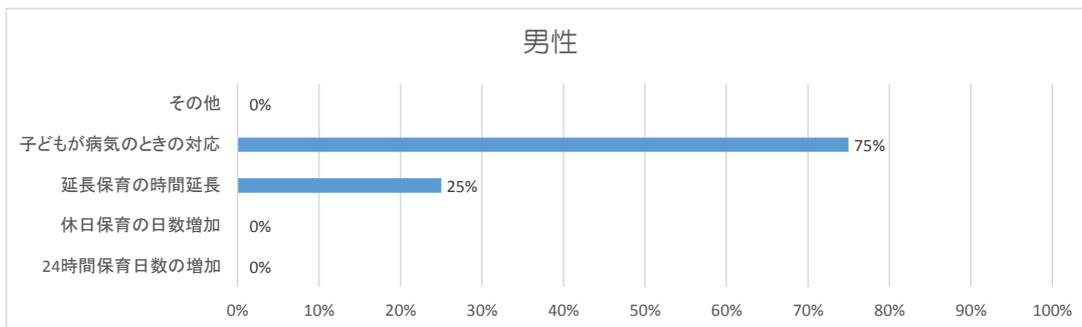
11. 勤務中の子どもの預け先は



1 2. 医大保育所を利用していますか



1 3. 医大保育所を利用するにあたり希望することは

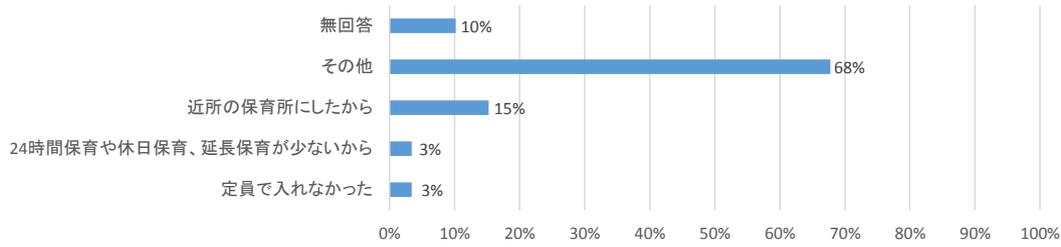


【その他の希望】

- ・転園した場合でも、預かり保育でみていただけると助かると思う。

14. 医大保育所を利用しなかった理由は何ですか

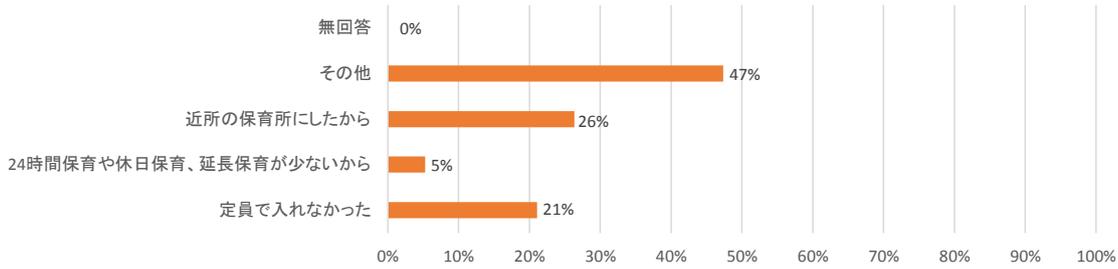
男性



【その他の理由】

- 配偶者が専業主婦で必要ないので
- 配偶者の勤務先にあるので
- 男性医師も利用できるのを知らなかった
- 3歳までは家で育てたかったから
- 単身赴任のため

女性

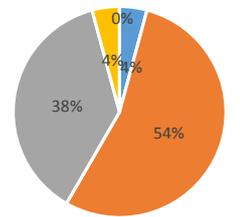


【その他の理由】

- 診療医は入りづらいと聞いたので
- 認可が受かったなら認可にしてくださいと言われた。
- 上の子と同じ保育園（幼稚園）にするため
- 内容が良くないから
- 大学院時代に対象外と言われた

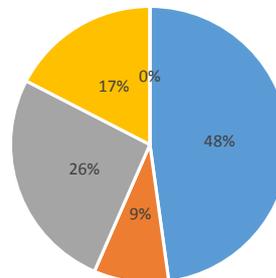
15. 保育所の送り迎えをしているのは

男性



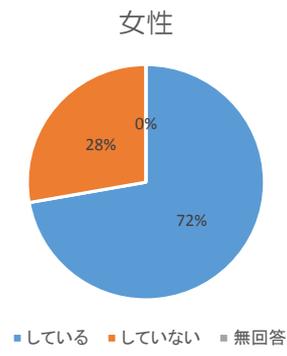
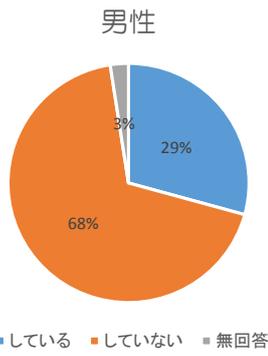
- 自分
- 配偶者
- 夫婦でその日によって変わる
- 実・義父母
- その他

女性

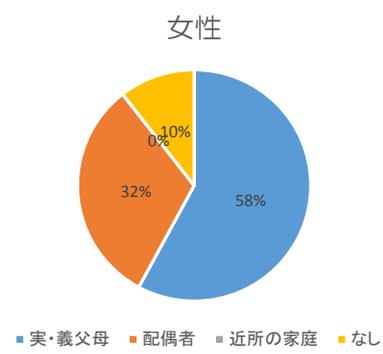
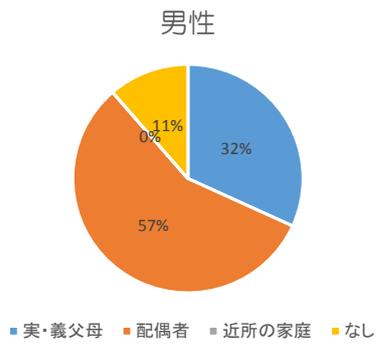


- 自分
- 配偶者
- 夫婦でその日によって変わる
- 実・義父母
- その他

16. 学童保育を利用していますか



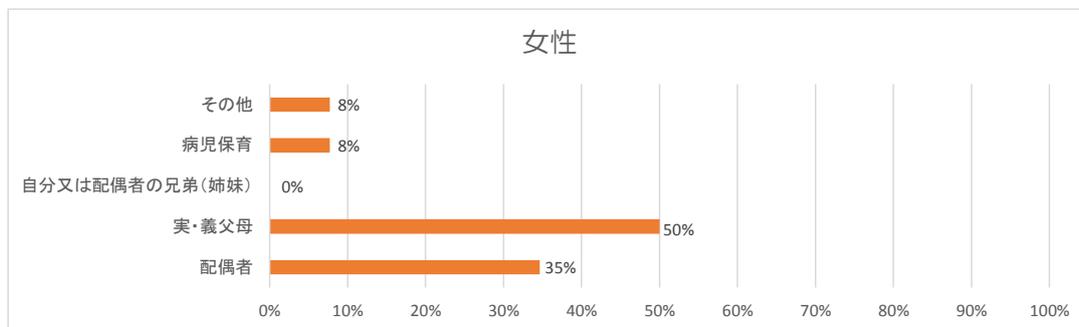
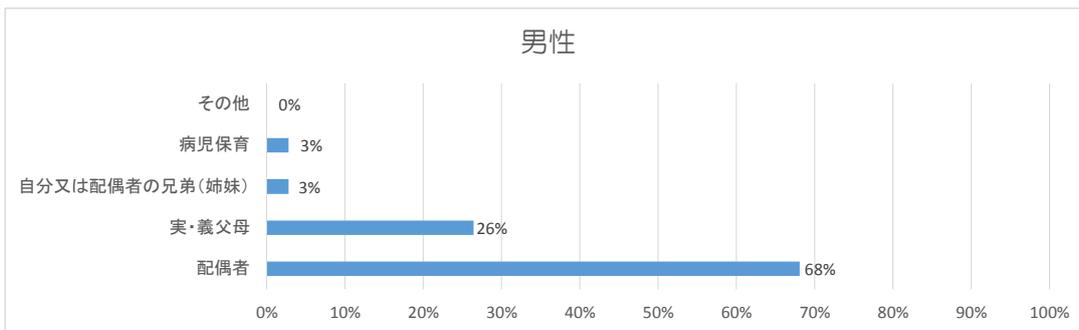
17. 学童保育以外に子どもを世話するのは



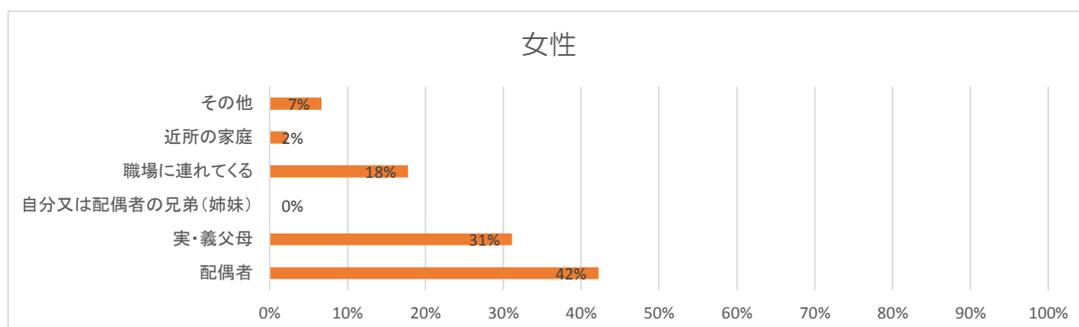
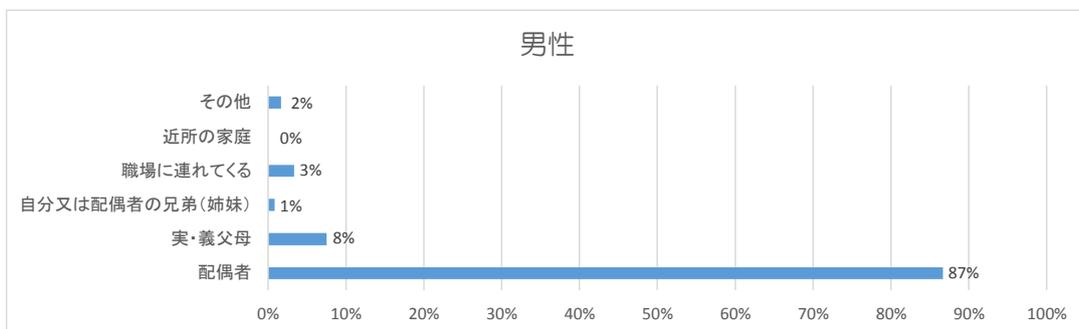
18. お子さんが病気の時休みが取れますか



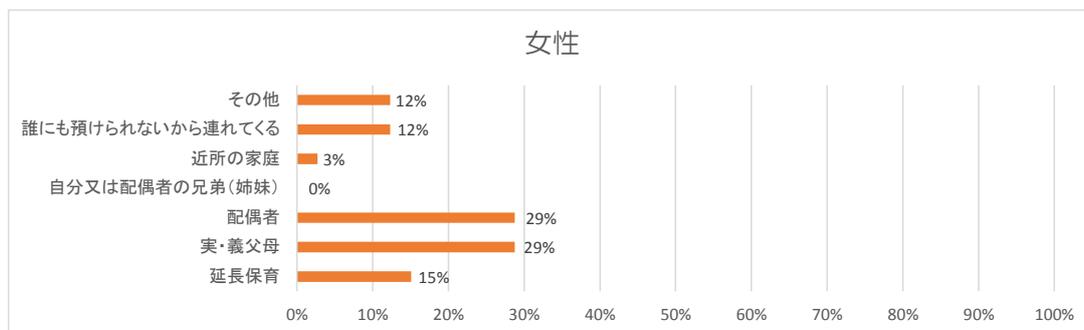
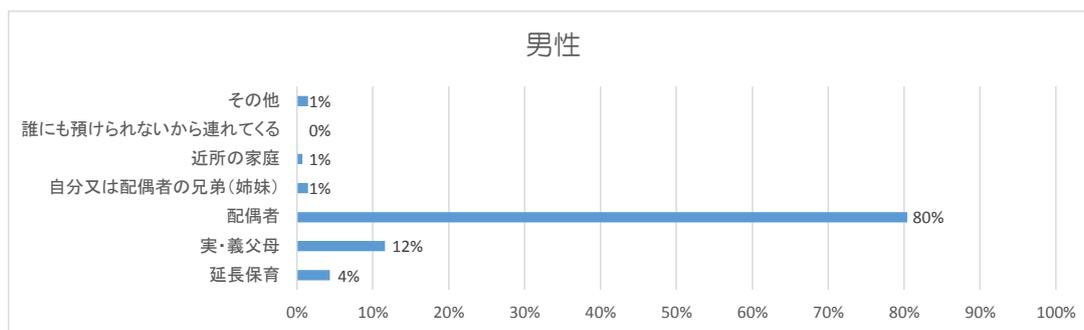
19. お子さんが病気の際に休みが取れない時、誰が面倒を見ますか



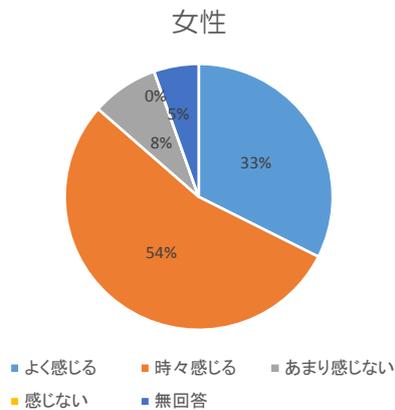
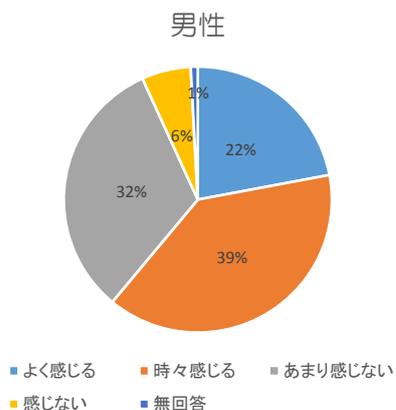
20. 帰宅後に呼び出しがあった場合に誰に子どもの世話を依頼しますか



21. 時間外に研究会やカンファレンス等に参加する場合、誰に子どもの世話を依頼しますか



22. 仕事と育児の両立に対してストレスを感じますか



23. 今後、仕事と育児を両立するうえで、希望することはありますか

- 病児保育を充実させてほしい
- 医大保育所に一時預かり制度を設けてほしい（小学校低学年くらいまで）
- 制度は整っていると思うが、運用に課題が多い。制度をより利用しやすい人的環境が大切
- 育児をしているだけで目立ってしまうため、仕事も自分の力量と時間を調整しなくてはならず、育児をして仕事をするのが当たり前になれるような改善を望みます
- 時間外や休日の学会や勉強会、オフィシャルな飲み会に参加できず、ストレスを感じる
- まわりの理解が必要
- 対応策などモデルプランを示してほしい
- 各教室により、女性医師に対する勤務や支援の差が大きいため、取り組み状況を公開すべき
- 育児のための短時間勤務や夜勤の制限を小学校低学年くらいまで範囲を拡大してほしい
- 急な休みとなってもフォローが入れるような仕組みがあれば良い
- 学会参加や研究会への出席が難しく、専門医の更新ができないため、更新が無理なくできるようにしてほしい。また、小さい子どもがいると出張に行けないため、医局や自宅でサテライトでの講義などで代替等していただければ助かる
- 当日、ベビーシッターが見つからないことがあるので、助力してくれると助かる
- 男性医師にも育休制度を設けてほしい
- 保育所の送迎で自家用車を利用していることから、医大駐車場の整備を希望
- 大学側の支援
- 休日の確保や給料アップ
- 男性医師も育児のために仕事を休みやすくすることが女性も休みやすくなると思う
- 不定期、短時間で世話をしてくれるシステムがあると良い
- 医大保育所の入所枠の拡大や入所条件の緩和
- 研究会やカンファレンス等を日中にできる取り組みが必要
- 育児は女性に負担がかかるので、「お父さんを家に帰す」取り組みが必要
- クラーク業務の拡大、人数増

24. 女性医師等就労支援委員会に希望することは

- 24時間託児が可能な施設が院内にあれば、育休中の女性医師のキャリアアップについては、他の医療者の労働環境の改善につながると思う。
- 子どもが小学生の方が大変なので、小学生の子をもつ親の支援を充実させてほしい
- 職場の近くに学童があると安心
- このようなアンケートをとってくれるのはうれしい。育児をしても仕事をして良いのだと感じる。できれば、子どもに寂しい思いをさせずに仕事をできる環境ができると良い
- 休みを取ることに對して、子どもがいる家庭は罪悪感を持ちながら取っているのが現状かと思います。自分が強くなっていくしか対処法はないと思うので、力づけてくれる仲間づくりの支援をお願いしたい。
- 女性医師の現状を少しでも改善してほしい。子どものために仕事を休まざるを得ないときにそれに罪悪感を抱かなくても良いような環境を作してほしい
- 男性の労働環境も調査し、改善してほしい
- 女性医師が就労を継続し、かつキャリアがそのときどきの運や出産等で左右されないようにキャリアモデルになる女医の講演会とかをしてほしい。また、男性医師への啓蒙のための講演もしてほしい
- 各診療科にも介入してもらいたい（勤務体制を決めているのは診療科のため）
- 女性医師が働きやすくないと、医療は破綻すると思う
- 札幌市内で子育てしながら働ける病院の紹介
- 裁量労働制の充実
- 過度な要求はしないでほしい
- 女性の多い職場で育休者等が多いときの支援
- 活発な活動
- 子育てに対しての上司への理解の働きかけ